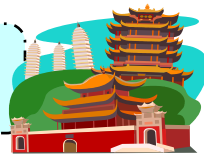




～品川史跡めぐり～



行慶寺

戸越八幡神社とともに、僧行永が結んだとされる成就庵がその起こりと伝えられる。行永はこの近くの池の上というところに住み、旅人に泉の清水を施していた。この行永の功德に感じて、この泉から出現した八幡大菩薩像を成就庵に祀ったというのである。成就庵はその後、寛永11年（1634）に現在地に移って行慶寺となり、さらに元禄元年（1688）には戸越八幡神社にご神体を祀った。



～地名の由来～



その名の由来をひもとけば、街は古の姿を現し
私たちは積み重ねた時の落葉の上になつことを知る

シリーズで区内の地名を紹介しています

《鮫洲(さめず)》

鮫洲の名の由来は、砂水（さみず）が転じたという説や、ここの浜辺で鮫がとれたからという説がある。

《立会(たちあい)》

立会の由来は、古戦場の一つとしての立会原、この地に市がたつて、互いに立会った場所など諸説がある。

《元芝(もとしば)》

古くは大井郷柴村のこと。来福寺の上台を上芝、下台を下芝とよんだ。これらを総称して元芝と呼ぶようになった。

《浜川(はまかわ)》

立会川が海に注ぐあたりを浜川とよび、そこから自然とその名が生じた。